



令和3（2021）年度男女共同参画推進活動事業

男女共同参画につながる 市民企画事業報告書



さぬき市

令和3(2021)年度 男女共同参画につながる市民企画事業一覧

さぬきつだ すなはま運動会



気軽なレクリエーションスポーツを通じて、さぬき市に住む日本人と外国人が交流を楽しみ親睦を図れるよう、津田ふるさと海岸で運動会を開催しました。国籍を超えたチーム編成にはじめはおそろおそろコミュニケーションをとっていた参加者も、ともに協力し種目に取り組んでいく中で、自然と励まし合い喜び合うことができるようになっていました。日常では外国人住民と触れ合う機会のない方が互いを理解し合い、支え合う多文化共生社会を知る、一つのきっかけになったのではないかと思います。今後も、より多くの人に多文化共生を身近に感じてもらえる催しを企画していきたいです。

《ヒューマンリング協同組合》

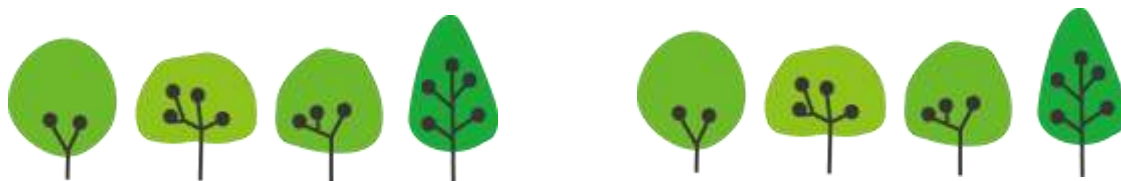
子育て世代による

地域力を上げる&つなげるリユースの会



子育てなどを理由に社会参加が制限されがちな女性が気軽に情報・物品交換できる場を作り、そこで得たノウハウ等を使った子育て中の女性の活躍の場づくりを模索したいと思い、子ども服やおもちゃ・制服などの回収及び譲渡会を開催しました。今回の取組で、社会とかかわる機会が少なくなった子育て世代に地域とのつながりを感じてもらうとともに、運営に携わった女性たちが個性や能力を発揮できる場を提供できたと思います。これからも、取組を続け、地域で子育てする人を中心とした取組にかかわる人たちが普段の暮らしのあり方を見直すきっかけになるよう、工夫や改善を繰り返していきたいと思います。

《石田洋子》



さぬきつだ すなはま運動会

《ヒューマンリング協同組合》



さぬきった

すなはまうんどうかい

【実施概要】

日時：令和3年10月30日(土) 14:30 ~ 16:00

場所：さぬき津田ふるさと海岸

参加者数：45名(うち外国人 7カ国22名, 日本人 23名)

スタッフ(協力ボランティア含む)：18名

【目的】

在住外国人と日本人が津田の豊かな自然の中で一緒に汗を流し、競技をするこゝと、国際交流の楽しさや多文化共生の重要性への理解を促進する。

【運動会プログラム】



開会式



シッポとり



ポチポチ体操
(インドネシアの体操)



くつとばし

つなひき



棒リレー



風船割り



閉会式



海岸清掃



宝探し

【工夫した点】

- 競技種目は、年齢・性別・使用言語にかかわらず、誰でも参加できる競技とし、ルールもシンプルにした。
- 年齢・性別・国籍が偏らないチーム編成にした。
- ボランティアの方に対して、「やさしい日本語」の事前レクチャーを実施した。
- 宝探して砂に埋めるものは、仮に回収漏れがあったとしても環境に負荷を掛けない、まっぼっくりを採用。(高校生ボランティアのアイデア)

【事業の効果】

- 年齢・性別・国籍を越えて交流する参加者の姿が見られた。チームメイト同士で励まし合ったり喜び合ったりする中で、互いを理解し支え合う多文化共生社会の一端を開くことができたのではないかなと思う。
- 県立津田高等学校の生徒さんたちが、高校生という立場を存分に生かして、日本人と外国人、さらに大人と子どもの橋渡しの存在となってくれた。この経験が、未来の社会に生かされることが期待される。
- 参加した外国人から「コロナ禍で様々なイベントがなくなる中、孤立しがらだったのが今日は楽しかった。ありがとう。」という声を聞いた。在住外国人に元気を与えられたと思う。

事業報告書

事業の名称	さぬきつだ すなはま運動会
-------	---------------

■事業の実績

さぬき市津田町の海岸で、外国人住民と日本人との交流を目的とした運動会を開催しました。さぬき市や市内の国際交流団体等を通じてチラシを配布いただくとともに、フェイスブックやホームページで広報活動を行い、想定より多くの参加がありました。

【実施概要】

日時 : 令和3年10月30日(土) 14:30~16:00

場所 : さぬき津田ふるさと海岸

参加者数 : 45名(うち外国人 7カ国22名、日本人 23名)

スタッフ(協力ボランティア含む): 18名

【運動会プログラム】

開会式 → ポチョポチョ体操 → シッポとり → クツ飛ばし → 綱引き → 棒リレー
→ 風船割り → 宝探し → 海岸清掃 → 閉会式

■事業の効果

【事業の効果】

参加外国人の出身国は7カ国にもなり、年齢・性別・国籍を越えて交流する参加者の姿が見られました。最初はおそろおそろだったコミュニケーションも、運動会という体を動かすイベントかつチーム対抗戦ということもあり、次第にチームメイト同士で励ましあったり喜び合ったりすることが自然にできるようになっていました。外国人とのコミュニケーションには英語ができないと、という日本人側の意識が変わっていったように思います。日常生活ではなかなかきっかけがつかみにくいですが、お互いを理解しあい、支えあう多文化共生社会の一端を開くことができたのではないかと思います。

また、企画段階から協力してもらった県立津田高等学校の生徒さんたちが、高校生という立場を存分に生かして、日本人と外国人、さらに大人とこどもの橋渡しの役割を担ってくれました。この経験が、未来の社会に生かされることを期待します。

当日、参加小学生の発案で、SDGs を目的とした海岸清掃を急遽プログラムに取り入れました。小学生自ら趣旨を説明し、参加者全員で実施できたことは、思いがけない成果でした。

参加した外国人から「コロナ禍で様々なイベントがなくなる中、孤立しがちだったので今日は楽しかった。ありがとう。」という声をいただき、外国人住民に元気を与えられたことも分かりました。

11月24日には最終報告会を行い、今回の反省点や参加者等からのアンケート結果をもとに、次の開催につながる前向きな意見交換ができました。

【工夫した点】

- ・競技種目は、年齢・性別・使用言語にかかわらず誰でも参加できる競技とし、ルールもシンプルなものにした。
- ・当日参加者も含め、年齢・性別・国籍が偏らないようチーム編成を考えた。
- ・外国人のフォローをしてもらうボランティアの方に対して、事前に「やさしい日本語」のレクチャーを行うことで、言語面での不安を取り除いた。
- ・宝探して砂に埋めるものは、仮に回収漏れがあったとしても環境に負荷をかけないことを意識し、自然に還るものとしてまつぼっくりを採用した。

【反省点】

- ・準備後の確認不足の点があり、プログラムの順番を入れ替えて対応した。
- ・競技によっては、大人と子どもが混在すると結果的に危険なものもあったので、次回行う際には競技形式を変える等でリスクを回避したい。

【参加者・ボランティアの方からの意見】

- ・とても楽しかったです。またぜひ参加したいです。
- ・思っていたより皆さんが積極的で、盛り上がっているのが印象的でした。
- ・丸一日だと長すぎるので、今回の開催時間はちょうどよかったと思います。
- ・限られた時間でしたが、多くの外国の方と接することができました。彼ら、彼女たちのチャレンジする姿勢や意識の高さ、そして優しさに触れることができ、とても勉強になりました。
- ・外国の方と触れ合うことがなかなかないので、いい経験になりました。
- ・いろんな国の人と交流できて、参加してよかったと思いました。
- ・参加者が生き生きとしていて、本当に楽しそうでした。
- ・地域の人を巻き込んだ活動に発展できないか、更には運動会を核にして交流を拡充できないかと期待します。

■次年度以降の事業予定

次年度は、瀬戸内国際芸術祭が開催されることもあり、“すなはま×スポーツ+すなはま×アート”をツールとした国際交流イベントを考えています。また、今年は偶然にも小学生がSDGsの企画を提案してくれましたが、次年度は、地域団体「ワンハンド瀬戸フレンズ」とコラボレーションした学びの企画も取り入れることができると計画しています。イベントを通して、より多くの方に多文化を身近に感じてもらい、実際に触れてもらう、そのきっかけとなるような企画にしたいです。





子育て世代による地域力を上げる &つなげるリユースの会

《石田 洋子》



令和5年度さぬき市
男女共同参画
推進活動事業

子育て世代による

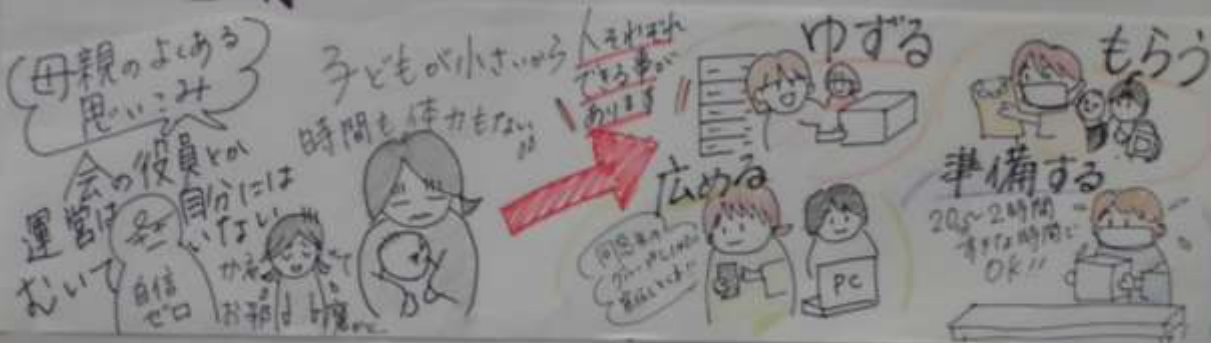
地域力を上げる＆つなげる リユースの会

ママでも

リユース

みんなで

主体的に!



とにかく
一歩
やってみよう!!
PDCA
まかせ!!



えっ!?
もってこれない
ゆありたい人
何人!!



4つ
面はきよ
私たちが
おすは
します!!

集まった子ども服 141kg $\xrightarrow{7/10}$ 200kg $\xrightarrow{10/30}$ 289.4kg
来場者数 親子19組(46人) $\rightarrow$ 50組(145人) $\rightarrow$ 41組(100人)
3回開催で 総合計 630kg 110組 291人

子ども服 630kg $\times$ 6台分以上のミニバンが集まりました!!

子ども服 おさがりユース会とは!!

子育て等を理由に社会参加が制限されがちな女性に向けて
オンライン・オフラインの両面から気軽に情報・物品交換する場を作る
その際に「公との協働力」「地域とのつながり」の仕組みを意識することで
事業実施以降も市内各地で各団体や個人が再現できるよう伝えていく

オフライン(リアル)

地域のよいところ子ども園に
ご協力頂きました!

子ども服の回収



子ども服の分別



リユース会(無料)



オンライン(SNS等)



LINE公式アカウント

個別の質問や
当日の駐車場の
混雑状況など
のすぐれた情報提供



YOUTUBE

会場や②の
様子が伝わる
内容など動画で
伝える事で作り
しやすく関心もUP!



Instagram

子ども服の
回収や販売の
達成や②の
様子が伝わる
内容など動画で
伝える事で作り
しやすく関心もUP!

<参加者の感想>

まだまだ着れる
キレイなおしり
おさがりばかり
ばいりしました

ひさびさに
ママ友から
おさがりもら
うれました

思い入れがあって
自分ではなかったけど
リユース会に出して
スッキリした

自分が提供した
子ども服を持って帰る人
見れてうれしかったです!!

混雑情報や
リアルタイムに
知って良かった
赤ちゃんと
一緒に見れた

<事業の効果>

コロナ禍でいろいろな
機会がなくなりました

子育て世代。今回の事業を通じて

『他者との協働力』『地域でのつながり』

『経験の共有』という仕組みのひとつを
提案できたと思います。

特に『母親たから』と
あきらめていた個性や能力を
発揮できる土壌が作れたと思います。



事業報告書

事業の名称	子育て世代による地域力を上げる&つなげるリユースの会
-------	----------------------------

■事業の実績

【実施内容、開催日時、参加者数 など】

自ら子ども園等で子ども服や小物などを回収し、譲渡するおさがりユース会を3度開催した（7、10、11月）。来場者は3度合計で110組291人。

- 1 [子ども服回収] 7月5日～8日 8:30～9:00（よしいけこども園）
[おさがりユース会開催] 7月10日（土）10:30～17:00（志度南交流センター）
▶集まった子ども服 141kg ▶来場者数 親子19組（46人）
- 2 [子ども服回収] 10月18日～22日 8:30～9:00（よしいけこども園）
[おさがりユース会開催] 10月30日（土）10:30～17:00（志度南交流センター）
▶集まった子ども服 200kg ▶来場者数 親子50組（145人）
- 3 [おさがりユース会開催] 11月27日（土） 10:30～17:00（志度南交流センター）
▶集まった子ども服 289.4kg ▶来場者数 親子41組（100人）

令和4年 1月11日 反省会 石田自宅にて 計4人

■事業の効果

【工夫した点】

○忙しい子育て世代でも参加しやすいようにチラシとLINE 公式アカウント・Instagram・YOUTUBE で、オフラインとオンラインの両面から告知した。

○チラシでは日時や場所、内容が一目でわかるように工夫し、LINE 公式アカウントでは当日の駐車場の混雑状況やサイズ別での子ども服の在庫状況など、参加者が子連れでもスムーズに利用できるような情報発信を行った。

○よしいけこども園の協力のもと、保護者へのメーリングリストで子ども服の回収&譲渡会の連絡をしていただいたことが大きな反響となり、保護者の関心が高くなった。

○子ども服回収時には折り畳みのコンテナボックスを使用することで、コンパクトながらも「あれは何をやっているのだろうか？」と保護者の注目を集めるものができた。

○子育て中のさぬき市民なら誰でも参加OK、と記載することで「地元密着型・循環型」のイベントであることを強調できた。

〔反省点〕

○子ども服回収については、①よいしいけこども園 ②宅配便など ③当日会場持ち込み ④市役所などで直接回収 の4種類で行った。提供してくれる方の負担を減らすために、季節ものを問わず回収したのが好評だった。②宅配便などでは、すでに地域活動をしている代表者に個別に声がけし、仲間内で集めて発送してもらった。予想以上に子ども服が集まり、費用もかさんだ。次回からは宅配便ではなく、自分たちで回収に行ける範囲での声がけをしたほうが良いと反省した。

〔参加者の意見〕

- 自分が持参した子ども服を、他の保護者が持って帰っているのをみてうれしくなった。
- こんなにたくさんの子ども服を無償で提供してくれる人が地域にいることにビックリした。今回はもらってばかりだったけど、次は何か提供できるようにしたい。
- 新品に近い子ども服やブランド物も多く、自分がイメージしていた「おさがり」より数倍良いものばかりでビックリした。
- リユース会で春から通う園の制服を見ていたら、その場に居合わせた先輩ママが、おねしょ防止シーツや園外用のリュックなども必要だということを教えてくれて助かった。
- 同じアパートに産後間もないママさんがいるが、コロナ禍のため会釈程度しかしていなかった。おさがりリユース会のチラシを渡すことで話すきっかけができ、ちかくの子育て支援センターも紹介し、人の役に立てた気になった。
- フルタイムで働いているので他の保護者と会うことがなかったが、リユース会で息子の同級生や保護者と話すきっかけができ、園での息子の様子も教えてもらいうれしかった。
- 親戚や友人がおさがりをくれるのだけど正直趣味ではなく、かといって捨てるのも申し訳なくモヤモヤしていたけど、リユース会で譲ることができて本当にスッキリした。ありがとうございます。
- LINE 公式アカウントでリアルタイムの駐車場混雑状況を教えてもらって助かった。赤ちゃん連れなので空いてる時間帯に行ってゆっくり見れた。
- 高松市の友達にリユース会のことを話すととてもうらやましがられた。思い入れがあって捨てられない人も多いと思う。コロナが落ち着いたらさぬき市外の人も参加できるようになればいいなと思う。
- コロナ前に子育て支援センターで知り合ったママ友からリユース会のことで LINE をもらった。コロナ禍で外出が減り疎遠になっていたけど、思い出して連絡をくれたことがうれしかった。

〔反省会で出た意見〕

後日、スタッフ4人で運営反省会をした。この中では

- もらいたい人より、ゆずりたい人のほうが圧倒的に多いことに驚いた。
- 会場が体育館で広々使えたのが良かった。長机がもう5～10 台あるとなお良い。
- ダメージ大きい子ども服が集まったり、参加者から何かしらクレームが出るかとネガティブなことを想像していたが、実際やってみると服の状態は良いし、参加者も自発的に陳列を手伝ってくれたり駐車場の誘導をしてくれたり協力的な方が多くうれしかった。

○今後の会場使用料などどうしても現金が必要なものに関して、どのように捻出するかがカギ。

今回の事業を通して、他者とのかかわりが少なくなり自分の意見を言うことも、他者と協力する機会も少なくなった子育て世代に対し、地域でのつながりや経験を共有できる仕組みのひとつを提案できたと思います。また、それぞれの参加者ができることを、負担感を少なく担っていくことで、子育て中の女性が無意識に「母親だから」とあきらめてしまったり抑えこんでいる個性や能力を、発揮できる土壌が作れたと思う。

さらには、ひとりでは実現が難しいことでもお互いの協力によって問題を解決できるという経験を得ることで、他者との協力のもと地域で自分らしく生活をしていけるという自信につながったのではないかと思う。

■次年度以降の事業予定

よいいけこども園の協力のおかげで保護者にも活動が浸透、信頼されるようになったので、5月・10月の衣替え時に合わせて回収・リユース会を開催したい。その際には一歩踏み込んだ「自分たちにとっての住みよい地域を考え、自分たちの手で少しずつ良くしていく」ことを意識しながら進めていきたい。地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていくこと、その過程について、時間をかけて学び改善を繰り返していきたい。そして自分の家庭や仕事の関わり方などは持続可能なものかどうか、問題があるとすれば何か、どうすれば改善・解決できるのかをともに考えられるような関わり方を実践していきたい。

令和4(2022)年度 男女共同参画推進活動事業一覧

1. うるし DE あーと

《事業の目的》

性別や国籍、障がいの有無にかかわらず、興味を持った誰もが、地域の伝統文化に触れるとともに親子で触れ合う時間を創出する。講師の女性(漆店勤務)の話聞くことで、性別にとらわれずに職業選択できることを伝える。

《事業の効果》

ワークショップをととして親子の絆が深まるとともに、市内の若い世代に、地域にある古きよきものを再認識し新たな視点を持ってもらうことで、地域や伝統の活性化をはかる。また、職業に対する性別固定観念を払拭する機会とし、子どもたちに自分の将来に希望を持ってもらう。

《あそび塾》

2. 育児者の休憩所づくり

《事業の目的》

育児中の方の休息が取れるようにするとともに、個人事業者の女性に活躍の場を提供する。

《事業の効果》

育児中の方が、サポートの場があることで安心しゆとりを持って子育てに励めるようになる。
また、講師側の女性たちにイベントの開催・実践を通じて技術が身につく。

《山下 礼美》

※記載内容は、実施計画書に基づく。



**令和 3(2021) 年度男女共同参画推進活動事業
男女共同参画につながる市民企画事業報告書**

さぬき市市民部人権推進課

〒769-2195 さぬき市志度 5385 番地 8
TEL : 087-894-9088 / FAX : 087-894-3000
E-mail : jinkensuishin@city.sanuki.lg.jp